

マイクロプラスチックによる海洋汚染と 解決策について、一緒に考えてみませんか。



【写真】
庄内川・新川
河口付近
(名古屋市)

海洋プラスチック汚染の6~8割は陸域から川を通して運ばれたもので、
その多くが容器包装類です。

年間800万トンものプラスチックごみが海に流入し、
2050年には魚の量を超える可能性があると言われています。

最新のマイクロプラスチック汚染の現状と対策について、
何が必要なのかを学び、実践につなげましょう。

日時 2019年6月1日(土) 13:30~16:00 (開場13:00)

場所 地球環境パートナーシッププラザ (GEOC)
(渋谷区神宮前5-53-70 国連大学ビル1F)

【基調講演】マイクロプラスチックによる海洋汚染と解決策について
東京農工大学 高田秀重教授

【事例報告】「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」について
京都府亀岡市 環境市民部環境政策課 山内剛課長

亀岡市は、2012年に内陸部の自治体で初めて「海ごみサミット」を開催し、海ごみを無くす取り組みを進めてきました。こうした取り組みを深化させるため、2018年12月に亀岡市と市議会で「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」が行われました。

主催 容器包装の3Rを進める全国ネットワーク

定員 先着90名

参加費 300円(資料代)

申込方法: メール 又は FAX

タイトルに「海ごみセミナー参加申込」と記載し
氏名、所属、連絡先を明記し、お申し込み下さい。

reuse@citizens-i.org fax03-3263-9463

表参道駅(東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線)徒歩5分
渋谷駅(JR・東急・京王井の頭線・東京メトロ)徒歩10分



容器包装の3Rを進める全国ネットワーク 事務局

〒102-0082東京都千代田区一番町9-7 一番町村上ビル6F

Tel:03-3234-3844 Fax:03-3263-9463